

令和8年 業種別労働災害発生状況
(令和8年1月1日～2月28日現在)

函館労働基準監督署

区 分 業 種 別		令和8年2月末			令和7年2月末			対 前 年		業 種 ・ 割 合 (%)	令和7年（速報値）		
		死 亡	休 業 4 日 以 上	計	死 亡	休 業 4 日 以 上	計	増 減 数	増 減 率 (%)		死 亡	休 業 4 日 以 上	計
全 産 業 合 計		1	89 (3)	90 (3)	2	99 (1)	101 (1)	-11	-10.9	100.0	7	620 (14)	627 (14)
除 く 鉱 業 計		1	89 (3)	90 (3)	2	99 (1)	101 (1)	-11	-10.9	100.0	7	620 (14)	627 (14)
製 造 業			15	15	1	14	15			16.7	1	108	109
内 訳	水 産 食 料 品		6	6		5	5	1	20.0	6.7		40	40
	他 の 食 料 品		2	2		4	4	-2	-50.0	2.2		23	23
	木 材 木 製 品 ・ 家 具		4	4		1	1	3	300.0	4.4		9	9
	窯 業 土 石 製 品											3	3
	金 属 ・ 機 械		1	1		1	1			1.1		13	13
	輸 送 用 機 械 等		1	1	1	1	2	-1	-50.0	1.1	1	9	10
	そ の 他		1	1		2	2	-1	-50.0	1.1		11	11
鉱 業													
土 石 採 取 業												1	1
建 設 業			8	8		7	7	1	14.3	8.9	1	74 (1)	75 (1)
内 訳	土 木 工 事 業		5	5		3	3	2	66.7	5.6		38 (1)	38 (1)
	建 築 工 事 業		2	2		1	1	1	100.0	2.2	1	17	18
	木 造 建 築 業					2	2	-2	-100.0			13	13
	そ の 他 の 建 設 業		1	1		1	1			1.1		6	6
道 路 貨 物 運 送 業			7	7		4	4	3	75.0	7.8		48 (4)	48 (4)
そ の 他 の 運 輸			4	4		6	6	-2	-33.3	4.4		15 (1)	15 (1)
陸 上 貨 物 取 扱 業													
港 湾 運 送 業												1	1
林 業			1	1	1	2	3	-2	-66.7	1.1	3	10	13
水 産 業		1	1	2				2		2.2		9	9
卸 売 ・ 小 売 業			14	14		12	12	2	16.7	15.6	1	79 (2)	80 (2)
清 掃 業			6	6		5	5	1	20.0	6.7	1	28	29
そ の 他 の 事 業			33 (3)	33 (3)		49 (1)	49 (1)	-16	-32.7	36.7		247 (6)	247 (6)
内 訳	保 健 衛 生 業		27	27		36	36	-9	-25.0	30.0		158	158
	接 客 娛 楽 業					6	6	-6	-100.0			40	40
	そ の 他		6 (3)	6 (3)		7 (1)	7 (1)	-1	-14.3	6.7		49 (6)	49 (6)
今 月 の コ メ ン ト	1 労働災害の状況 (令和8年発生分) 全産業の労働災害は90名で、前年の同時期に比べ、11名減少しています。事故の型別では、「転倒」が34名、「その他」が19名となっております。												
	2 令和8年2月受付分について 全体で58名の労働者死傷病報告を計上しました。業種別では多い順に、保健衛生業が19名、卸売・小売業が11名、製造業が8名でした。												
	3 コメント 令和7年12月1日から令和8年3月31日までの期間は「北海道冬季ゼロ災運動」の取り組み期間です。凍結路面における転倒災害等が多発しています。融雪剤・砂の散布や防滑靴の使用、車両の乗降時における路面状況の確認による転倒災害防止、天候・路面状況に応じた運転や十分な車間距離の確保、早めのブレーキの励行による交通災害防止に取り組んでください。												

※ 本統計は労働者死傷病報告（休業4日以上）により集計したものです。（ ）内は、交通事故による労働災害の内数です。
※ 函館労働基準監督署の管轄は、渡島管内と檜山管内です。

令和 8 年 死亡労働災害発生状況

函館労働基準監督署

Nº	発 生 月	時 刻	業種	事故 の型	起因物	災 害 発 生 概 況
1	1	11 時 台	水産業	おぼれ	水	被災者を含め 4 人が乗船した漁船が漁港近くでヒラメの底建網漁を行っていたが、被災者等と連絡が取れなくなったため、搜索したところ、海岸沿いの消波ブロック付近に被災者が倒れているのが発見され、その場で死亡が確認された。（被災者以外の 3 人は労働者ではない者。）

※本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。